

会 議 録

1 会議名

平成27年度第2回保倉区地域協議会

2 議題

【協議事項】

・平成27年度地域活動支援事業について（公開）

① 提案者による提案説明・質疑応答（事業費20万円以上の事業）

② 委員協議、採決

3 開催日時

平成27年5月20日（水）午後6時00分から午後8時00分まで

4 開催場所

公民館保倉分館

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員： 宮川和市（会長）、小出一雄（副会長）、伊藤義雄、梅澤一了、
大堀幸子、小林健一、近藤正信、武田宗三、早津輝雄、吉田一枝、
渡邊良禎

・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主任

8 発言の内容

【関川センター長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【宮川会長】

・挨拶

【関川センター長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、議長依頼

【宮川会長】

- ・会議録の確認：近藤委員、武田委員に依頼
- ・議題【協議事項】平成27年度地域活動支援事業について、事務局より説明を求める。

【星野主任】

- ・資料「平成27年度 保倉区地域活動支援事業提案書受付一覧（担当課所見あり）」に基づき説明
- ・採択審議、ヒアリング方法について説明

【宮川会長】

では、20万円以上の事業についてプレゼンをしていただく。

「提案No.1 保倉環境美化事業」について、提案者に説明をお願いします。

【提案No.1 保倉環境美化事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【宮川会長】

この件については16日に各町内に花苗の配布が終わっている。

提案者へ質問等がないか確認する。質問等はなかったので終了する。

— 提案者退席 —

次に「提案No.4 かみよしの池浸食防止事業」について、提案者に説明をお願いします。

【提案No.4 かみよしの池浸食防止事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【宮川会長】

提案者へ質問等がないか確認する。

【梅澤委員】

単年度で全部行うには非常に工事金額が大きく、大工事である。ほかの地域活動支援事業もあり、予算に限りもあるので、複数年計画でできないか。

【提案No.4 かみよしの池浸食防止事業提案者】

まだ採択になっていないので、その質問に対しては後ほどお答えしたい。先ほど申し上げたとおり、いろいろな方法が考えられる。

【宮川会長】

プレゼンが終わった後、協議したい。

【梅澤委員】

もう1点。保倉地区全体のことだから、この神社に対し、上吉野町内会だけで事業をやってこられたのか、それとも池の関係者でやってこられたのか。勉強不足でそのような話も聞いていない。確かに駐車場のところにお宮さんらしきものはあるが、それは皆さん全体で考えていかななくてはいけないことである。かみよしの池は白鳥で非常に大事な池だと思うが、今までもこのような事業をやって、多少なり手を加えて直すということなのか。私には、今まで全然かまっておらず、いきなり直すことになったように感じられるのだが、その辺りを聞かせていただきたい。

【提案No.4 かみよしの池浸食防止事業提案者】

農村地帯としては非常に大事な池である。ましてや上吉野独自の池ではなくて、下吉野や石川、あるいは岡沢を含めて、地域にとっての大事な池である。

その要因となったのは白鳥が飛来して浸食されているというのが根本にある。白鳥が来なければ地域活動支援事業で提案する必要はなかった。

もちろん、上吉野の弁天さんですから、全体ではなく、上吉野だけの祀りごとでしかない。これは各町内がそういう形で神社を持っておられるところは、みんなやっていると。白鳥が来たためにこのようなことになったということをご理解願いたい。

【宮川会長】

白鳥関連で、田んぼに水が要らなくなったとき、水を落してしまえば壊れることもない。3、4年前に、上吉野と青野の池でも護岸をしたが、その一連と似たような事業である。また採択の時にもう少し詳しい話をしながら進めたい。

他に質問等がないか確認する。質問等はなかったので終了する。

— 提案者退席 —

次に「提案No.5 青野池周辺環境整備事業」について、提案者に説明をお願いする。

【提案No.5 青野池周辺環境整備事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【宮川会長】

提案者へ質問等がないか確認する。

【小林委員】

塗る厚みはおよそ何mmになるか。

【提案No.5 青野池周辺環境整備事業提案者】

塗装の技術的なことについて十分承知はしているわけではないが、十分風雪に耐えるようをお願いしてある。

【宮川会長】

これは業者から見積りをもらっているか。

【提案No.5 青野池周辺環境整備事業提案者】

見積りはいただいている。

【宮川会長】

下塗り、上塗りと2回塗りしている。

【小林委員】

メートルと単価が出ているが、厚みが分からない。確認をしたほうがいい。

【宮川会長】

他に質問等がないか確認する。質問等はなかったので終了する。

次に「提案No.13 保倉地区生涯学習活性化事業」について、提案者から説明をお願いする。

【提案No.13 保倉地区生涯学習活性化事業提案者】

・提案書に基づき補足説明

【宮川会長】

提案者へ質問等がないか確認する。

【吉田委員】

講師は堀内さんをお願いするのか。

【提案No.13 保倉地区生涯学習活性化事業提案者】

堀内さんだけではなく、他にも声を掛けている。学校にも教えられる先生がいるようである。堀内さんには窯の形や大きさ、どんなものが必要か相談させていただいた。堀内さんのお名前を出したが、他にやってくれる人がいれば、お願いしたい。

【梅澤委員】

保倉区の地域活動支援事業ですから、学校施設の備品を用意するのは少し意味が違うのではないかと思います。保倉地区の子どもたちが通っているから必要かもしれないが、保倉小学校の中に置くというのは問題があるのではないかと。市のものにならないのか。

【提案No.13 保倉地区生涯学習活性化事業提案者】

保倉小学校ではなく、ここのセミナーハウスに置くのである。教育委員会にも200

ボルトの電気を使うことの理解を得ている。保倉小学校は、200ボルトはあるのだが、給食室で使うとほかで使う容量がない。子どもたちだけでなく、全体で使えるようにということでセミナーハウスに設置をしたい。

【小林委員】

おそらく相見積りをとって安い方で提案してあると思うが、そういう解釈でよいか。

【提案No.13 保倉地区生涯学習活性化事業提案者】

そうである。相見積りもりは必ず要る。

【宮川会長】

他に質問等がないか確認する。質問等がなかったので終了する。

続いて「提案No.14 保倉地区安全・安心対策事業」について、提案者から説明をお願いする。

【提案No.14 保倉地区安全・安心対策事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【宮川会長】

提案者へ質問等がないか確認する。

【梅澤委員】

参考意見だが、上名柄の町内会長が、LEDが壊れて自分たちで設置しようと思ったら多額の費用が掛かると言っていた。LEDをつけても喜んでばかりはいられない。壊れたときに町内会で負担するとなると多額に費用がかかる。後のことも考えておかないといけない。実際にたくさんLEDを設置すると、いい面も悪い面もある。一概に全部をLEDに変えるというのはどうかと思う。

【武田委員】

お金がかかればLEDを止めて普通の電球にするというのでいいと思う。

【渡邊委員】

一つひとつの採択審議をして、その時にいろいろな問題点を出しながら採択の可否について諮っている。今は20万円以上の事業について、提案者から趣旨説明をお願いすることなので、その説明の範囲に留めていただきたい。そして、採択の時に賛否を合わせながら問題点を指摘し、決めるという進行方法でお願いしたい。

【宮川会長】

他に質問等がないか確認する。質問等がなかったので終了する。

— 提案者退席 —

次に「提案No.6 保倉地区安全安心な地域づくり事業」について、提案者から説明をお願いします。

【提案No.6 保倉地区安全安心な地域づくり事業提案者】

・提案書に基づき補足説明

【宮川会長】

提案者へ質問等がないか確認する。

【近藤委員】

南部地区の5町内でトランシーバーを購入するということだが、トランシーバーの性能について、全部の範囲で使えるか。

【提案No.6 保倉地区安全安心な地域づくり事業提案者】

全部の範囲というわけではないが、私たちの町内会については、ほとんど使用できる。

【近藤委員】

町内会ごとでは無理だということか。

【提案No.6 保倉地区安全安心な地域づくり事業提案者】

町内会ごとには試していないが、おそらく近くまで届くと思っている。

【近藤委員】

せっかく南部地区で購入されるので、5町内が一括して連絡を取り合えるような無線機であれば効果的だと思う。逆に1町内だけしか利用できないのであれば、いかなものかなと思う。

【宮川会長】

中身については後の採択のときに検討したい。

【伊藤委員】

資料に市民安全課には「課題なし」とあるが、その下に「上越市自主防災組織等育成事業補助金と併用できません」とある。市の自主防災組織の補助金の対象になるということなのか。

【梅澤委員】

金額によってだが、申請できる。

【伊藤委員】

では、自主防災組織育成事業でも対応が可能だが、地域活動支援事業だと全額補助と

なるので、こちらに申請されたということか。

【宮川会長】

いくらまでか。

【武田委員】

最高30万円までなら何年でもいい。

【宮川会長】

訓練するときの物を買いたい時は5万円まで。それは100%である。今の30万円も100分の100なのか。

【武田委員】

30万円までなら100分の100である。1回で30万円を使えば終るし、10万円ずつなら3年間である。

【宮川会長】

その町内は使っていないのか。

【提案No.6 保倉地区安全安心な地域づくり事業提案者】

まだ少しあるようだ。

【宮川会長】

後でまた皆さんのご意見を聞きながら採択の可否の相談をしたい。

他に質問等がないか確認する。質問等はなかったので終了する。

— 提案者退席 —

次に「提案No.11 直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業」について、提案者に説明をお願いします。

【提案No.11 直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業提案者】

・提案書に基づき補足説明

【宮川会長】

この事業は昨年から始まったのか。

【提案No.11 直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業提案者】

昨年は中学生の「ようこそ先輩」等の自立支援をさせていただいた。今年度は小学生の自立支援をしていきたいと思っている。

【宮川会長】

今年は小学生も一緒にやるということか。

【提案No.1 1 直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業提案者】

当然これについては、それぞれの学校と協調しながら、直東学園からの上から目線ではなくて、子どもにとって一番いいものを取捨選択して選りすぐったつもりである。

【渡邊委員】

趣旨は承知しているが、「複数区で提案している場合」という欄で、有田区、それから北諏訪区というふうに記載しているが、これは直江津東中学校区になると、当然保倉区も入ってくるはずである。どうして保倉区が入らないのか説明していただきたい。

【宮川会長】

資料の「複数区に提案している場合」という欄に「有田区、北諏訪区」と書いてあるが、保倉区が入っていないことについて、事務局に説明を求める。

【星野主任】

こちらについては、保倉区の提案受付一覧である。この欄については、それ以外の有田区と北諏訪区を入れたものである。

【宮川会長】

「保倉区の提案だから」ということである。有田区だったら、有田区、北諏訪区だったら北諏訪区は入っていないということである。

他に質問等がないか確認する。質問等はなかったので終了する。

— 提案者退席 —

次に「提案No.1 2 保倉地区防災テント整備事業」について、提案者から説明をお願いする。

【提案No.1 2 保倉地区防災テント整備事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【宮川会長】

提案者へ質問等がないか確認する。質問等はなかったので終了する。

— 提案者退席 —

【宮川会長】

プレゼンは以上で終了する。引き続き、委員協議に入る。

それでは「提案No.1 保倉環境美化事業」について、町内会、老人会、婦人会、子ども会へ花苗を配布する事業である。意見を求めたがなかったので採決に移る。賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「提案No.2 定住化促進に伴う広報(チラシ)事業」について、意見等を求めた
がなかったので採決に移る。賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「提案No.3 直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業」について、意見等を求
める。配分額4万円は何に使うのか。

【星野主任】

これは教育ハンドブックと教育要覧を増刷するものである。

【宮川会長】

他に意見等を求めたがなかったので採決に移る。賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「提案No.4 かみよしの池浸食防止事業」について、武田委員(提案者)から意
見を求める。

【武田委員】

今回、提案が多く、配分額に対して、補助希望額が100万円を超えているので、先
ほども申し上げたとおり、採択をいただけるのなら、今回は超過分をカットし、複数年
による整備をしたいと考える。

【宮川会長】

これは金額が大きいので、審議を先に進めた中で調整をしたいと思うが、よいか。

(よしの声)

では、保留とする。

次に「提案No.5 青野池周辺環境整備事業」について、先ほどの説明であったように、
「ため池百選」に選ばれ、橋を作ったが、素人の塗装では劣化がしてしまったので、提
案された。意見を求めたがなかったので採決に移る。賛成の方の挙手を求める。

(全員の挙手)

では、採択とする。

次に「提案No.6 保倉地区安全安心な地域づくり事業」について、これは南部地区の

トランシーバーの整備である。これは先ほど質問が出ていたが、持っている町内もある。それと同じような機材なのか。これは5町内ということになっているが、保倉地区全体のことを考えて、今年は南部地区にするかとか、来年はどこかにするかとかという話が進んでいるかどうか、その辺が少し気になる。

【小出副会長】

下名柄でもトランシーバーは買ってあるが、先ほど質問が出たように、聞こえる範囲がものすごく狭い。だから南部全体は絶対聞こえない。この防災訓練がブロック展開にするということで、例えば南部、中部、西部というふうになれば、そこでの備品の購入ということになるかと思うが、今まで町内会でそれぞれ揃えてきているので、そういう意味でも町内で努力してもらうことが先であると思うがどうか。

【宮川会長】

今小出副会長がおっしゃるように、担架や発電機やテントをすでに100万円の補助事業で買われた町内が結構ある。今、小出副会長から5町内で買って合同で訓練すると言われたが、電波が届かないのではどうにもならない。避難所の件でも下百々、駒林、小泉は小学校へは来ないが、長岡と長岡新田の避難所は小学校である。そうするとあちらこちらに行く人もいる。町内で言うと、下百々と駒林、小泉くらいであれば、トランシーバーが通じると考える。

【梅澤委員】

先ほど近藤委員からも意見が出たが、その町内だけで十分である。他の地域に届くような電波にするためには、外に鉄塔を立てて許可をもらわないといけない。それは私たち素人ではできない。

私の町内では、駒林新田とで合同で防災訓練を実施する。距離が離れているところでも何とかトランシーバーで連絡が取れるので、非常に役立つ。三か所に分かれているので、町内に集まるのならいいが、私たちは歩いて行かないといけない。その中継点に誰かが立ってもらうのだが、なかなか携帯電話ではお互いに電話をかけるとよく通じない。そのため、私たちの町内でもトランシーバーの話が出た。私たちの町内では二台持っているが、それでも本部で必要なので、二台では足りない。それでこれは非常に大事なことだと思う。小泉は大きい町内なので、集まるのはなかなか大変である。これはどこの町内にあっても役に立つものだと思う。

【宮川会長】

いくつ買ってあるのか。

【近藤委員】

4つぐらいある。

【宮川会長】

持っている町内もあるが、今回は5、6個あるが、市の30万円の助成金をどの町内も全部使っているのか。

【梅澤委員】

私の町内は保倉で一番早く自主防災組織を作った。その30万円で一部を負担して、テントを買った。

【宮川会長】

あとは長岡新田や長岡などの町内はどのようになっているのか。

【吉田委員】

南部地区ですべての町内にあるとは限らないようである。無い町内もあるので、今回こういう提案をしたのだと思う。

【宮川会長】

保倉区全体のことを考えて、今、町内会という名前を出している以上、町内会長協議会の役員との相談もしなければいけないし、私たちが、今ここでこうしろということもできない。要らないという町内が出た場合、それを外す場合も出てくる。その点についてはどうか。

【梅澤委員】

私は防災の関係で大事だと思う。

【武田委員】

趣旨は理解し、大変良い事業だと思う。私の町内も5台持っている。100万円の補助金の中から買ったものである。今まで年2回ずつ、無線機を使った防災訓練をやっているが、はたして本番になった時に使えるかどうかは疑問である。私のところでも離れたところがあり、同じ町内の中でも端から端までは、無線機は届かない。この趣旨を理解しながら、全体の中で検討するのも一つの方法だと思う。

【宮川会長】

前向きに考えるところは考えないといけない。保倉区全体のバランスを考えながら、今回提案された無線機の数の問題もあるので、それらも含めて検討するようになる。

【小林委員】

南部は町内ではなく、ブロックなので、当然必要だと思う。

【宮川会長】

管理責任を持つのは町内会長でもいいし、防犯担当でもいいのだけれども、ブロックで置いてあるところに、災害になってから取りに来るといようなことでは駄目である。

【早津委員】

災害では使われたことはないと思うが、訓練で使われた時には、この全部の機器は必要な範囲で機能しているのか。

【小林委員】

毎年、実施しているので大丈夫である。災害時は携帯電話が使えなくなる。伝達できなければ、自転車で行くか、走るか、当然人の足になる。

【武田委員】

訓練では必要だと思うが、本当の災害になればどうなのか。

【小林委員】

本当の災害になれば駄目かもしれない。その予備のための訓練なので、やはり重要だと思う。

【宮川会長】

小泉は今5台あるが、町内2台ずつの申請で、追加が必要ということか。

【小林委員】

電波が届かないところもあるので必要である。

【宮川会長】

これについては保留して次の採決に移る。

「提案No.7 保倉地区体育大会事業」について、意見等を求めるがなかったので採決に移る。賛成の方の挙手を求める。

（全員挙手）

では、採択とする。

次に「提案No.8 保倉地区早朝ラジオ体操事業」について、意見等を求めるがなかったので採決に移る。賛成の方の挙手を求める。

（全員挙手）

採択とする。

次に「提案No.9 保倉地区球技大会事業」について、意見等を求めるがなかったので採択に移る。賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

採択とする。

次に「提案No.10 「ファミリー綱引大会及び大縄跳び大会」参加事業」について、意見等を求める。

【小林委員】

確認だが、ファミリー綱引大会は保倉地区の代表で出場するのか。

【宮川会長】

そうである。保倉地区から1チーム出ている。

【小林委員】

全町内会に声を掛けているのか。

【宮川会長】

全町内会に声を掛けている。体育部長を通して、探している状況である。練習をしないと怪我をするので、本番までに何回かセミナーハウスの体育館で練習をしている。安易に引っ張って腰を痛めたり、転んで怪我をしたりすると困る。北諏訪地区のスポーツ推進員から来ていただいて、夜に何回か練習をした。これは市の大きな行事となっているので、保倉地区も出ないと駄目だろうということで、一昨年から出るようにした。この行事が始まった頃は、保倉地区も出ていたそうだが、途中からずっと出ていなくて、一昨年に推進員さんから保倉地区も出てくれないかという話から、出場するようになった。

【早津委員】

成績は別として、保倉地区の代表として出場することは良いことだと思う。

【梅澤委員】

保倉の宣伝につながる。

【宮川会長】

他に意見を求めるがなかったので採決に移る。賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「提案No.11 直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業」について、

意見を求めたがなかったので採決に移る。賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「提案No.1 2 保倉地区防災テント整備事業」について、これは3張り買う予定である。提案書に書いてあるように、現状の場所が狭いということと、上吉野愛宕の園は大きい建物はあるが、実際に人が入るスペースがない。廊下もあるので、そこで使うことも一つの方法かと思う。3張りあれば、消防団の演習や小学校の運動会で使える。この提案は、残額によっては2張りにすることも考えられるが、意見を求める。

【小林委員】

管理は各町内ですか。

【宮川会長】

管理についてはこれから相談する。小学校の運動会でも使いたいのである。今、学校にあるのは古くなって支柱が折れそうになっていて危ない。この他に消防団の演習など、野外でイベントをするときに貸出しをする予定である。

【武田委員】

一点お聞きしたい。この事業の中に上吉野愛宕の園、駒林会館、それと下百々集落開発センターがあるが、私の町内はこどもの家が指定緊急避難場所になっている。愛宕ではない。

【宮川会長】

了承した。かみよしのこどもの家でよい。

【武田委員】

他にも町内会館を避難所になっている町内はあると思う。

【梅澤委員】

あると思うが、市の指定を受けたものは、この3つしかない。今後はもっと増やしていくことも考えられる。

【宮川会長】

これはただの日よけテントではなく、周囲の幕もセットなので、中に保管もできる。

【梅澤委員】

今回は指定緊急避難場所だけを予定しているが、来年も考えていただきたい。

【宮川会長】

他に意見を求めるがなかったので、採決に移る。賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

次に「提案No.13 保倉地区生涯学習活性化事業」について、意見を求めたがなかったので採決に移る。賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採決とする。

【武田委員】

余談だが、セミナーハウスに設置するのはよいのだが、今いろいろな見直しの中で、セミナーハウスに公民館の分館も統合されるということだが、セミナーハウスそのものの事業は行うけれども、宿泊だけでなくという話なのか。

【宮川会長】

宿泊と風呂場をなくすということである。公民館機能をセミナーハウスに移すので、中のリフォームは、これから皆さんと相談してするということが基本的な話になっている。入り口に風呂場のボイラー室があり、耐火構造になっているので窯を持ってきた時に、そこに入れさせてもらおうかと考えている。教育委員会に経過をお話ししたところ、「大いにするように」ということであった。そのように進めさせていただいている。

他に意見を求めるがなかったので採決に移る。賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採決とする。

次に「提案No.14 保倉地区安全・安心対策事業」について、今回、58灯設置したら事業完了となる。意見を求めるがなかったので採決に移る。賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採決とする。

次に「提案No.15 保倉小学校入口バス停周辺美化活動事業」について、保倉小学校のところのバス停のブロック塀を全てきれいに塗装して、それに子どもたちが絵を描くということである。バス停の中と外を綺麗にする時に、「周りの草刈りも少ししてください」と言われている。それはまた学校と話をしながら、今まで以上に綺麗にして子どもたちが気持ちよく使えるようにしたい。

【武田委員】

趣旨は分かった。提案書にバス停の外壁が劣化したと書いてあるが、新しくしても、

ベニヤ板ぐらいだとまた劣化する。せいぜい2年ぐらいだと思う。バス停が今後ずっと綺麗なままであればいいが、その後の管理をどうするのか。

【宮川会長】

管理については、子どもたちが使うので、校長と相談してみる。

他に意見を求めるがなかったので採択に移る。賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

それでは、保留された「提案No.4 かみよしの池浸食防止事業」と「提案No.6 保倉地区安全安心な地域づくり事業」について再協議する。

「提案No.4 かみよしの池浸食防止事業」については、提案者も「複数年でやりたい」ということである。2年掛かるのか、3年掛かるのか分からないが、調整させていただきたい。それから「提案No.6 保倉地区安全安心な地域づくり事業」について、今の提案どおり採択となると、保倉地区全体で、トランシーバーがある町内もあるし、ない町内もあるという話になる。今回は少し時間をおいて検討してもらうことにして、個数を減らして採択したらどうか。町内が5つあるので、2台ずつの購入で10台だと思うが、小泉では5台もあるのに、さらに2台も必要かという話にもなる。駒林は全く違うところに町内があるから大変だと思う。また南部全体で防災に使いたいと言っても、電波が届かないということであれば、長岡と長岡新田は指定緊急避難場所が小学校の体育館である。そうすると南部地区だけで防災訓練をしていて、本番になったら保倉小学校へ避難しなければならなくなる。それについても意見を求める。

【早津委員】

これは消防の分団等と組織は違うと思う。確かに今、避難所については会長がおっしゃるとおり、保倉小学校もあれば、駒林や小泉もあるが、先ほどからの話をお聞きしていると、実際に何か起きた時にはあまり機能しない、しかしそのための連携とか心構えとか、訓練の時には有効だという話で、主に訓練で使いたいという話である。そしてこちらでは保倉としてどうするかというところまではいかないのではないかと思う。ブロックで検討した結果、最終的に各町内に2台になるか3台になるかはブロックで考えていただいて、そこで10台ほしいという声が上がった時にそれを減らさないとか、今回は難しいということはどうかと思う。

【宮川会長】

来年度以降、「うちもほしい」と出てきたものについては、改めて検討するという
ことでよいか。今回、ブロックで10台ということを出ているが、そのまま採択とするか。
それとも場所的な問題も含めて何か変える必要があるか。意見を求める。

【武田委員】

今、単純に町内の数で何台ということだが、それはそれでいいと思う。ただ、先ほど
から話が出ているようにトランシーバーを5台も持っているところもあるし、何台もあ
るのに、さらに2台も必要ないという町内もあると思う。ただ、早津委員が言われてい
るとおり、ブロックでトランシーバーではなく、このような提案があった時に、今回と
同様に採択をするという内約というか前提があれば、10台全てを使ってもいいわけ
である。そのような考えで今後提案書を受け入れるのであれば、これはそれでいいと思う。
トランシーバーでなくても、このようなことで何かほしいということであれば、中部な
ら中部、西部なら西部で提案するのであれば、よいのではないか。

【渡邊委員】

概ね今の話でよいと思うが、こういう形を取って、この次別の町内でもこういう要求
が出た時には、前向きに検討するという程度にしないと、来年出るものについては保証
することはできない。予算については年度ごとに変わる。今年度のは今回限りで認
めて、そして来年にまたこういう問題が出たらその都度検討していく形になる。

【伊藤委員】

先ほどの話だが、自主防災組織の補助金があるのであれば、地域活動支援事業の補助
金を使わないで、そちらを使うべきだと思う。

【渡邊委員】

統一していないから、対応がまちまちである。統一して考えるのは難しいから、事情
に応じて検討していくようになると思う。

【伊藤委員】

使ってしまったから申請するのか。

【早津委員】

だから要望は一応、尊重しなければならない。武田委員が言われたが、確かに単年度
予算なので来年の保証はできないが、去年はこうだったという前例は消えない。それを
参考にして来年もまた検討していけばいいと思う。

【宮川会長】

検討することはやぶさかではないということにして、来年出てきたら、その席で数の問題も含め相談するということにしたいが、それでよろしいか。

(よしの声)

他に意見を求めるがなかったので、採決に移る。賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

【早津委員】

「提案No.4 かみよしの池浸食防止事業」の提案者が2回に分けてもいいというのであれば、それ以上、言うことはないのだが、上吉野の南のほうの整備は、何年計画だったか。

【宮川会長】

上吉野は4年、それから青野は2年である。

【早津委員】

今まではあれもこれも申請したいということをお我慢してきたところもあったと思う。予算の範囲内であれば少し削ってでも採択したほうがいいのではないかと思う。

【宮川会長】

これは2年計画になると、104万円を落とすことになるが、今年の残りを来年また提案するということか。

【武田委員】

来年もまた提案するので、また検討していただきたい。

【宮川委員】

それは白鳥が原因で浸食されて、上吉野と青野が被害を受けながら進めてきておられるのでよいと思う。それではこれで事業費を合わせていただいでよろしいか。

【武田委員】

了承した。

【星野主任】

金額は補助希望額から超過している分を引くと66万4,000円になる。

【梅澤委員】

60万円くらいでは大した事業はできない。この金額ではそれほど進まないで終わる。LEDを少し減らしたらどうか。

【宮川委員】

LEDを減らすか、それとも今年はテントを一つ減らすか。テントは20万円くらいである。

【渡邊委員】

テントは防災上のものなので、減らさないほうがいい。減らすならLEDを減らしたほうがいい。LEDは省エネになるが、街灯としては果たしていいかどうかというのは疑問に思っている。LEDは照射範囲が限られていて、普通の電灯では街灯と街灯との間が明るかったのだが、LEDにすると、真下を照らすもので街灯との間に死角が生じる。これは特性上仕方がないと思うが、時代として仕方がないことなので反対はしないが、それほど推奨したものではないと思っている。積極的に求めることではないが、前向きには考えていく必要はあると思う。

【宮川会長】

それでは結論を出したい。「提案No.4 かみよしの池浸食防止事業」の事業を半分にして、あとの足りない分は「提案No.14 保倉地区安全・安心対策事業」を減らすということによろしいか。

(よしの声)

【早津委員】

それはいいのだが、事務局から金額を出していただきたい。

— 事務局計算中、委員同士の雑談 —

【星野主任】

「提案No.4 かみよしの池浸食防止事業」が85万3,000円、「提案No.14 保倉地区安全・安心対策事業」が112万6,000円である。

【宮川会長】

LEDについてだが、減る数はいくつになるか。

【星野主任】

58灯から8灯減る。

【宮川会長】

8灯については、多く残っている町内から減らしたい。

それでは、地域活動支援事業の採択審議を終了する。

本日は大事な採択の日であったので、時間をかけたが、皆さんの御協力をいただきな

がら、それ相応に皆さんの願いを聞けたと思っている。今後とも御協力をお願いしたい。
事務局へ連絡事項を求める。

【星野主任】

- ・次回、行政改革推進課より「施設使用料減免基準の見直しについて」説明と質疑を予定
- ・協議会日程の調整をお願いする

【宮川会長】

次回の協議会日程は後ほどお知らせする。

【小出副会長】

去年は満額で終わったのだが、今年は申請額が多くて調整が入った。皆さんの御理解の中で調整ができた。

事務局にお願いがあるが、今まで地域活動支援事業で購入して共同で使えるようなもの、あるいは小学校に保管してあって各町内で使えるようなもの。次回以降でいいので、書き出して周知していただきたい。

【星野主任】

了承した。

【宮川会長】

今まで購入したものについて、保管場所などを明確にしておいていただきたい。

【小出副会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。